

一般質問

今回の一般質問者は佐藤直樹、大石温基、戸沢清、八柳良太郎、高久昭二、黒沢龍己、小林幸悦の7氏がそれぞれの所属会派を代表して、当局の考えを問いついた。その内容は「駐車料金」、「地域センターのあり方」、「市長の姿勢」、「企業誘致」、「本庁舎建設問題」、「堆肥センターの建設」、「第三セクターの一元化」等を中心に一般質問を展開したが、当局答弁はいつもどおり「検討する」という聞きなれた答弁が多かった。

市営の駐車場料金を協力金をプラスせよ？ 他の例を参考に検討する！



佐藤直樹

質問 仙北市の観光施策について伺います。1点目は市営の駐車場料金だが、一般奈良県の吉野町に視察に行ってきた。大型バスは駐車料金が3,000円で7,000円が協力金。合わせて10,000円

である。

普通乗用車も駐車料、協力金合わせて1000円だった。交通渋滞対策や山桜の維持管理費等もまかなう料金だった。本市も国交省の公共交通活性化制度を調査の上、対応を検討したらどうか。

2点目は桜の木の一ナー制である。今、果実等は全国的に、体験型、参加型の観光に切り替わってきた。話題を提供する意味でも桜のオーナー制は考えられないか。



年間3,380万円収入の桜並木駐車場

答弁 駐車場料金についてはいろいろな意見がある。目的に沿った料金を頂戴することは理解されにくいと判断しているが、現状をベースとして他の例を参考にしながら検討したい。また質問にあった樹木医の後継者だが、教育委員会に対応をお願いしている。

質問 次に防災計画について伺います。先に手渡された仙北市の防災計画書には、防災無線について、神代と角館地区は整備されていない。今後の計画もなかったと思うが今後どうするか。

答弁 合併時に地域のアンバランスについて話し合われた。今、

総務省がデジタル化の推進を指導しているので、その際に全面対応を考えていきたい。

質問 行政改革の財政効果について伺う。25施設について指定管理者制度の導入をしているが、財政効果はどの程度か。

答弁 効果については管理委託の時と指定管理者指定ではまだ大きな差はない。しかし年を追って効果は出ると考えている。例えば角館交流センターは、これまで人件費と管理費で約2000万円の経費だが、指定管理者指定すると委託料が約1300万円となり、700万円の節減となる予定だ。

質問 今話題の定額給付金についてだが、仙北市の対応について伺う。

給付される総額は大体どの程度か。所得制限はない。

答弁 仙北市としては、試算していないが、約4億円程度と考えている。所得制限は考えていない。

本市の危機管理を問う？ 職員体制の仕組みづくりをする！



大石温基

質問 地域センターのあり方について、各センターにおいて住民の要望に対する対応に不公平感が感じられるため、各地域センターを一本化するべきではないか。

答弁 地域センターは分庁舎方式のため、本課のない部署の不便解消のため、各センターに総合窓口課の設置により現在一本で進めている。地域センターの一本化については、設置の経緯、目的があり各センターで起きた事例をもとに対処、解決の仕方につ

いて情報交換をして、共通化、公平化に努めている。その上で一本化のメリット、効果が期待できるものであれば検討したい。

質問 奨学金制度を充実させ、仙北市の医師確保に取り組みすべきではないか。

答弁 仙北市は奨学金制度により、角館総合病院では現在一名の方に支給しており医師免許、取得後、角館病院で研修医として研修を受けることと、一定年限、勤務する条件を付し、将来に向けて医師確保の制度を設け進めている。

質問 上水道の未供給地区へ安全な飲み水の供給と、集落排水事業で環境整備をすべきではないか。